

令和3年度

令和3年10月27日

# 遷喬小だより 10月号③

TEAM 遷喬 PRIDE 遷喬

～子どもも 教師も 地域も 伸びる学校～

## 「真庭市学力向上推進事業」授業研究会公開！

研究テーマ「主体的に探究する子どもたちの育成」

～「今、何ができるか」を問い続ける子どもの姿を目指して～

10月21日、甲南女子大学教授 村川雅弘先生、並びに、真庭市教育委員会主幹 松岡徹先生を指導助言者としてお迎えして、本校の総合的な学習の時間を公開しました。真庭市内から多くの先生方が参加してくださいました。授業反省や村川先生のご講演の中で、本校の成果についてお話をさせていただいたので、ポイントを紹介いたします。

＜本校の実践のよいところ＞

- ① 子どもとともに授業を作り上げている。
  - ・ 目指す学び合いの姿を子どもと共有している。
  - ・ 総合的な学習の単元名を児童とともに考え、練り上げている。合い言葉にしている。  
3年・・・久世はすごい～久世のいいところを広めよう～  
6年・・・スマイル大作戦をしよう
  - ・ 毎授業「めあて」とともに「ここまでできたらB評価」を子どもと設定している。
- ② 「主体的に学習に取り組む態度」として粘り強い取組を行おうとする側面や、自らの学習を調整しようとする側面の2つの側面から子どもの学びをみていこうとしている。
  - ・ 子どもに育成される資質・能力として①自己理解・他者理解②主体性・協働性③将来展望・社会参画などを重視して、授業を構想している。
- ③ 探究のサイクルを意識した単元計画・年間計画を作っている。
  - ・ 探究するプロセスを大切にしている。（リサーチや本物との出会い、体験学習など）
  - ・ 子どもたち自身がPDCAサイクルを回す経験を積み重ねている。
  - ・ 地域への貢献意欲へつながっている。
- ④ 全ての学習の基盤になる生活規律・学習規律・学習技能（特に言語活動）について重点をおいて取り組んでいる。
  - ・ 「聴ききる」「表現し合う」姿を各学年が子どもとともに作り、常に意識して取り組んでいる。

本校の積み重ねが子どもたちの姿に表れてきていると多くの皆様に言っていただき、うれしく思っているところです。

まだまだ改善点はあると思いますが、本校の教育にかける情熱が参加していただいた先生方に伝わったと信じています。

学年テーマ

# 3年生紹介

学年目標は、「やってみよう～自分のため、なかまのため」です。



3年生から始まった総合的な学習の時間。真庭市役所産業観光部産業政策課の笹井さんの話を聞いて、やってみたいことや知りたいことを出し合うところから学習がスタートしました。

やってみたいこと・知りたいこと  
付箋がいっぱい

まず全員で久世神社の見学を全員で行い、学習の仕方のモデルとしました。



その後、グループ毎に調べたいところへ見学に行き、模造紙にまとめていきました

発表練習

見学の予約や情報収集



一人一人考えを出し合う



「久世はすごい」「もっと広めたい」という思いをもって久世の良さをどうやって伝えていこうか、工夫しているところです。地域の皆さんに喜んでいただけるように頑張っていきます。どのようなまとめ表現ができるか、楽しみです。

3年「総合的な学習の時間」 学習の流れ

久世神社見学—グループ毎の見学—ポスターまとめ—発表—再調査—ポスター作り直し—笹井さんに発表—広める方法を考える—再調査—整理・分析—まとめ表現

